

環境省主催「チャレンジアワード2023」最優秀賞を受賞 オーガニックハンドタオルの商品化を実現

麗澤中学・高等学校(千葉県柏市/校長:櫻井 譲)のSDGs研究会「EARTH」が、首都圏の中高2校の連携プログラムとして、オリジナルハンドタオルの商品開発を実現させました。オーガニックコットンの魅力や可能性を広く発信する取り組みが評価を受け、この度、環境省主催の「いっしょに考える『福島、その先の環境へ。』チャレンジアワード2023」にて最優秀賞である環境大臣賞を受賞しました。

2021年度より首都圏の学校連携プログラムである「GOALS」を開始し、2022年度は「福島から考える持続可能な未来」をテーマに探究学習プログラムを実施してきました。各校文化祭や、サステナビリティに関するイベントを通じて、オーガニックコットンの可能性を広げて、福島の持続可能な環境や未来に貢献することを目的に活動しています。

2023年度は「福島から考える持続可能な未来」をテーマに、2022年度に引き続き、株式会社起点(代表:酒井悠太氏)の協力を得て、毎月1回活動をしています。4月に福島県いわき市で行ったフィールドワークで、震災やオーガニックコットンについて五感で学んだ生徒達は、震災を風化させず、福島の豊かな自然を伝えるために(株)起点とコラボレーションをしたオリジナルハンドタオルの商品化を実現させました。オリジナルハンドタオルの詳細は【別紙】もご確認ください。こだわったポイントは以下の3つです。

(1) 福島の豊かな自然を表した5色のカラー:

実際に福島を訪れたときの自然を、「桃色」「山色」「花色」「空色」「海色」の5色で表現しています。

(2) 想いを形にしたオリジナルのロゴ:

GOALSの想いや福島の未来を表したロゴを作成し、タグに刺繍されています。

(3) GOALSを表したオリジナルラッピング:

包装もオリジナルのデザインを採用し、共に福島の未来へ向けてカラフルな道を創ってゆく若者がデザインされています。

このオリジナルハンドタオルは、2校の文化祭や「なかの東北絆まつり」等の外部イベントで、300枚以上を販売しました。そしてこれらの取り組みが高く評価され、この度、環境省主催「いっしょに考える『福島、その先の環境へ。』チャレンジアワード2023」にて最優秀賞の環境大臣賞を受賞し、福島県いわき市と双葉郡双葉町を11月25日と26日に訪問します。

【福島県いわき市と双葉郡双葉町訪問の概要】

■11月25日(土)

綿花の収穫・(株)起点との対話 (コットンフィールドKITEN / いわき市四倉町玉山)

■11月26日(日)

表彰式 (双葉町産業交流センター / 双葉郡双葉町)

ふたばふたたびツアー参加 (双葉郡双葉町内)

■参加校

・麗澤中学・高等学校(千葉県柏市) ・晃華学園中学校高等学校(東京都調布市)

【取材に関して】

11月25日(土)に取材をお受けいたします。生徒・教員へのインタビュー可能な時間があります。なお、当日の天候等により行程が変更となる可能性がありますので、取材いただける場合は11月24日(金)13時までに下記連絡先までご連絡ください。

※11月26日(日)の表彰式の取材については、環境省の報道発表をご確認ください。

https://www.env.go.jp/press/press_02389.html



【別紙】

■首都圏の中高2校が商品開発した、オリジナルハンドタオル



オリジナルポイント1

福島の豊かな自然を表したカラー



桃

山

花

空

海

オリジナルポイント2

想いをカタチにしたロゴ



- ・3つの綿 : GOALSの3つの団体
- ・希望の光 : 福島の輝くミライ
- ・文字の繋がり : GOALSの結束力

オリジナルポイント3

私たちを表したラッピング



包装はプラスチックではなく紙で作成。多様な価値観を活かし、共に福島の未来へ向けて、カラフルな道を創ってゆく若者をデザインしました。

■活動風景



【麗澤中学・高等学校について】

麗澤中学・高等学校は昭和10年、創立者の廣池千九郎（法学博士）が「道徳科学専攻塾」を現在のキャンパス（千葉県柏市光ヶ丘）に開塾したことから始まります。2015年には中高一貫コースの「叡智コース」を新設。グローバル社会の中で、冷静かつ客観的に物事の本質を見抜き、複雑な諸問題を解決していく総合的な人間力である「叡智」を携えた真のリーダーを育成するため、開校以来、蓄積してきた研究成果と実績を活かし、さらに麗澤らしい教育活動を展開していきます。